



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月15日

東

上場会社名 ペイクラウドホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 4015 URL <https://www.paycloud.inc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾上 徹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 副社長 (氏名) 井上 浩毅 (TEL) 03-5414-3666
定時株主総会開催予定日 2025年11月26日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年11月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の連結業績(2024年9月1日~2025年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	10,234	49.3	1,289	78.7	731	116.4	714	123.1	143	93.9
2024年8月期	6,853	53.1	721	43.8	337	106.6	320	140.0	74	△35.0

(注) 包括利益 2025年8月期 143百万円(110.3%) 2024年8月期 68百万円(△40.0%)

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
2025年8月期	9.06		8.88		3.4	8.1	7.1
2024年8月期	5.37		5.27		2.4	5.1	4.9

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期 ー百万円 2024年8月期 ー百万円

(注) 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む) + 株式報酬費用

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2025年8月期	9,409		4,530		46.5	274.98
2024年8月期	8,262		4,215		50.2	264.33

(参考) 自己資本 2025年8月期 4,374百万円 2024年8月期 4,147百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	1,432	△296	10	4,373
2024年8月期	1,164	△19	121	3,228

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)										
	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 11,500	% 12.4	百万円 1,300	% 0.8	百万円 800	% 9.4	百万円 770	% 7.8	百万円 360	% 150.4
										円 銭 22.63

(注) 当社グループは、「売上高」、「調整後EBITDA」及び「営業利益」を経営戦略上の重要な指標であると捉えておりますが、2026年8月期の連結業績予想より「経常利益」、「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1株当たり当期純利益」についても開示することとしております。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 — 社 (社名) — 除外 1 社 (社名) VALUEDESIGN (MALAYSIA) SDN. BHD

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年8月期	15,907,408株	2024年8月期	15,717,908株
2025年8月期	771株	2024年8月期	25,731株
2025年8月期	15,851,687株	2024年8月期	13,807,054株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年8月期の個別業績（2024年9月1日～2025年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	1,000	5.1	313	878.2	293	56.2	367	95.4
2024年8月期	951	△5.2	32	—	187	—	188	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期	23.18	22.71
2024年8月期	13.62	13.39

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	5,987	4,597	74.2	279.18
2024年8月期	5,362	4,075	74.7	254.99

(参考) 自己資本 2025年8月期 4,440百万円 2024年8月期 4,007百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(収益認識関係)	18
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国の関税率引き上げによる先行き不透明感の高まりや地政学リスクの継続により、各国の金融政策・通商政策を背景とした物価情勢や国際金融資本市場の変動について引き続き注視が必要な状況となりました。また、わが国経済は、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクにおいて留意が必要である中、インフレによる物価上昇等により個人消費の回復に遅れは見られるものの、雇用・所得環境の改善の動きが改善し、個人消費に持ち直しの動きがみられました。一方、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇及び日本銀行の金融緩和政策の見直しに対する警戒感、中国経済の先行き懸念等依然として先行きは不透明な状態にあります。

このような環境下において、当社グループでは、各事業会社が共通顧客基盤に対するアプローチを積極的に行うことで、顧客獲得、事業規模の拡大を進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高10,234,033千円（前年同期比49.3%増）、営業利益731,430千円（前年同期比116.4%増）、経常利益714,241千円（前年同期比123.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益143,755千円（前年同期比93.9%増）となりました。また、当社グループが経営戦略上の重要指標であると捉えている調整後EBITDA(*)は1,289,295千円（前年同期比78.7%増）となりました。

(*) 調整後EBITDAは、営業利益と減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）及び株式報酬費用の合計額となっております。

セグメントの概況は以下のとおりであります。

a. キャッシュレスサービス事業

「キャッシュレスサービス事業」については、決済手数料収入の着実な上積みが進み、利益率が当初の計画を上回り推移しました。キャッシュレスサービス事業の当連結会計年度末における顧客数は1,131社となり、累計エンドユーザー数は226,186千人となりました。また、当連結会計年度における独自Payの決済取扱高は、約1.45兆円と堅調に増加したものの、受注済み顧客に起因するサービス展開の期ズレ等の要因により、中期経営計画において計画していた2.0兆円には未達となりました。

本日公表いたしました「特別損失（減損損失、契約損失引当金繰入額）及び法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ」のとおり、汎用電子マネーである「iD」を用いた独自Payとの連携サービス（以下iD連携サービスといいます）について、当初予定していた計画よりサービスリリースが大幅に遅れており、当該サービスに係るソフトウェア資産などに対し減損処理を実施し、54,924千円を特別損失として計上いたしました。

また、iD連携サービスに係る一部のサービス運用業務を外部業者へ委託しております。解約申し入れ時点における債務残高相当額を一括で支払う義務を負っており、事実上中途解約が困難な状況にあります。iD連携サービスに係るソフトウェア資産の減損に伴い、当該契約における将来の支払い義務の履行による損失へ備えるため、契約損失引当金繰入額の298,400千円を特別損失として計上いたしました。

その結果、キャッシュレスサービス事業の当連結会計年度における売上高3,768,905千円（前年同期比11.6%増、セグメント間の内部売上高371千円を含む）、セグメント利益802,152千円（前年同期比30.0%増）となりました。

b. デジタルサイネージ関連事業

「デジタルサイネージ関連事業」については、2024年3月1日付で株式交換により完全子会社化した株式会社クラウドポイントにおいて、前期は、下期の業績を連結業績として計上しておりましたが、今期は、通期業績を連結業績として計上しております。多店舗展開する企業へのデジタルサイネージ導入が進んだことや、商業施設やオフィスサイネージの導入が寄与し、売上高、利益共に好調に推移いたしました。また、当連結会計年度におけるデジタルサイネージ累計設置面数は68,450面、累計設置箇所は30,810箇所、順調に増加いたしました。

その結果、デジタルサイネージ関連事業の当連結会計年度における売上高5,690,126千円（前年同期比107.0%増）、セグメント利益805,948千円（前年同期比105.3%増）となりました。

c. ソリューション事業

「ソリューション事業」については、連結子会社であるアララ株式会社の主要なサービスであるメッセージングサービスにおいて、事業者向けにメッセージ配信を行う法人企業へのアウトバウンド営業活動を引き続き強化

してまいりました。また、Webマーケティングの強化にも積極的に取り組み、新規顧客の獲得を推進いたしました。事業は堅調な伸びを続けており、メッセージングサービスの当連結会計年度における取引社数は395社、解約率は0.6%となりました。

その結果、ソリューション事業の当連結会計年度における売上高770,075千円（前年同期比4.6%増、セグメント間の内部売上高8,554千円を含む）、セグメント利益298,316千円（前年同期比32.3%増）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は9,409,689千円となり、前連結会計年度末に比べ1,146,886千円増加いたしました。

このうち、流動資産は6,143,599千円（前連結会計年度末から1,309,536千円の増加）となりました。これは主として、現金及び預金が1,145,374千円、棚卸資産が50,978千円、その他の流動資産が76,635千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は3,266,089千円（前連結会計年度末から162,650千円の減少）となりました。これは主として、ソフトウェアが132,789千円、敷金及び保証金が20,001千円それぞれ増加した一方、のれんが258,567千円、顧客関連資産が60,300千円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は4,879,389千円となり、前連結会計年度末に比べ832,047千円増加いたしました。

このうち、流動負債は3,873,686千円（前連結会計年度末から1,070,259千円の増加）となりました。これは主として短期借入金が358,360千円、預り金が494,094千円、未払法人税等が69,913千円、契約損失引当金が62,000千円それぞれ増加した一方、前受金が95,394千円、1年内返済予定の長期借入金が56,641千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は1,005,702千円（前連結会計年度末から238,212千円の減少）となりました。これは、契約損失引当金が236,400千円増加した一方、長期借入金が330,257千円、繰延税金負債が144,633千円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は4,530,300千円となり、前連結会計年度末から314,839千円増加いたしました。

これは主として、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ32,589千円増加し、親会社株主に帰属する当期純利益143,755千円を計上したことによるものであります。また、繰越利益剰余金の欠損填補を目的に資本剰余金から利益剰余金への振替を行っており、その結果、資本剰余金が1,818,700千円減少した一方、利益剰余金が1,818,700千円増加しております。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,145,374千円増加し、4,373,643千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1,432,641千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益393,386千円、減価償却費197,164千円、のれん償却額258,567千円、仕入債務の増加額255,269千円、預り金の増加額494,064千円、契約損失引当金の増加額298,400千円、法人税等の支払額330,330千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは296,802千円の使用となりました。これは主に、有形固定資産の取得による

支出22,182千円及び無形固定資産の取得による支出271,175千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは10,988千円の収入となりました。これは主に、短期借入金の増加額358,360千円、長期借入金（一年内返済予定を含む）の返済による支出386,898千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入60,607千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年8月期においても、「キャッシュレスサービス事業」及び「デジタルサイネージ関連事業」を成長ドライバーと位置付け、積極的な投資を継続してまいります。

「キャッシュレスサービス事業」におきましては、様々な技術革新やサービス提供が行われており、今後も市場規模は拡大するものと考えております。

連結子会社の株式会社バリューデザインにおいては、顧客のキャッシュ・フローの良化とロイヤルカスタマーの構築に寄与する点を強みに、決済・マーケティングサービスの強化等、事業領域の拡大に向けた投資を継続いたします。具体的には、新規顧客対応の為のPOS改修、独自Payプラットフォームの統合、各種汎用決済手段対応のためのGateway、オンラインチャージ対応に投資をおこないます。

「デジタルサイネージ関連事業」におきましては、動的かつ視覚的にインパクトのある情報をリアルタイムに提供することで急速に変化する市場のニーズに応えることが可能なことに加え、労働力不足を補う自動化ツールとしての役割への期待から、引き続きデジタルサイネージの旺盛な需要が続くものと考えております。

連結子会社の株式会社クラウドポイントでは、顧客のデジタルサイネージの導入計画策定から機器選定、システム提案、設置工事、コンテンツ制作・配信、システムの保守・運用まで、ワンストップで行う強みを活かし、引き続き顧客基盤の強化を進めてまいります。今期も全体業績の約6割を占めるロイヤルカスタマーへの継続的な営業を強化し、配信システムや機器の保守による継続的な売上の増額に経営リソースの投入をおこないます。また、今後の多店舗・大型店舗での導入を見据え、その実現にあたり必要な人材の採用・育成への投資を実施いたします。

「ソリューション事業」は、連結子会社のアララ株式会社の主要なサービスであるメッセージングサービスにおきまして、サービスメニューの拡充等の施策により既存顧客の単価向上を図ってまいります。このような施策により、今後も本事業の業績は安定的に推移していくものと考えております。

以上のことから、2026年8月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は11,500,000千円、調整後EBITDAは1,300,000千円、営業利益は800,000千円、経常利益770,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益360,000千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,228,269	4,373,643
受取手形、売掛金及び契約資産	1,090,445	1,127,384
棚卸資産	375,379	426,358
その他	140,397	217,033
貸倒引当金	△430	△820
流動資産合計	4,834,062	6,143,599
固定資産		
有形固定資産		
建物	80,593	85,155
減価償却累計額	△68,934	△71,064
建物（純額）	11,659	14,090
工具、器具及び備品	323,105	332,070
減価償却累計額	△280,049	△292,754
工具、器具及び備品（純額）	43,056	39,316
リース資産	214,420	214,420
減価償却累計額	△209,661	△213,945
リース資産（純額）	4,758	475
建設仮勘定	2,736	4,873
その他	38,705	38,485
減価償却累計額	△38,705	△38,485
その他（純額）	—	—
有形固定資産合計	62,210	58,754
無形固定資産		
のれん	2,259,295	2,000,727
顧客関連資産	472,350	412,050
ソフトウェア	238,335	371,124
ソフトウェア仮勘定	188,712	171,840
その他	726	657
無形固定資産合計	3,159,419	2,956,400
投資その他の資産		
投資有価証券	32,682	32,439
敷金及び保証金	113,951	133,952
保険積立金	11,781	—
繰延税金資産	40,309	43,647
その他	9,004	41,824
貸倒引当金	△620	△929
投資その他の資産合計	207,109	250,935
固定資産合計	3,428,739	3,266,089
資産合計	8,262,802	9,409,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	378,438	630,563
短期借入金	316,640	675,000
1年内償還予定の社債	36,000	—
1年内返済予定の長期借入金	387,731	331,090
リース債務	4,699	522
未払金	293,410	276,867
未払法人税等	203,005	272,919
前受金	357,124	261,730
賞与引当金	35,905	44,216
預り金	648,300	1,142,394
契約損失引当金	—	62,000
その他	142,169	176,382
流動負債合計	2,803,426	3,873,686
固定負債		
長期借入金	1,096,135	765,878
契約損失引当金	—	236,400
リース債務	522	—
退職給付に係る負債	2,623	3,424
繰延税金負債	144,633	—
固定負債合計	1,243,915	1,005,702
負債合計	4,047,342	4,879,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,021,779	1,054,369
資本剰余金	4,805,133	3,023,762
利益剰余金	△1,659,302	303,153
自己株式	△13,195	△447
株主資本合計	4,154,415	4,380,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,212	△5,259
為替換算調整勘定	△3,207	△1,516
その他の包括利益累計額合計	△6,419	△6,775
新株予約権	67,464	156,237
純資産合計	4,215,460	4,530,300
負債純資産合計	8,262,802	9,409,689

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	6,853,412	10,234,033
売上原価	3,844,972	6,229,129
売上総利益	3,008,440	4,004,904
販売費及び一般管理費	2,670,495	3,273,473
営業利益	337,945	731,430
営業外収益		
受取利息	2,790	7,528
受取配当金	—	325
為替差益	1,922	2,673
受取保険金	—	2,338
その他	1,802	2,131
営業外収益合計	6,515	14,997
営業外費用		
支払利息	22,978	30,253
支払手数料	1,032	1,036
その他	364	896
営業外費用合計	24,374	32,186
経常利益	320,086	714,241
特別利益		
固定資産売却益	—	2,361
投資有価証券売却益	2,505	27,994
新株予約権戻入益	384	8,789
特別利益合計	2,889	39,145
特別損失		
固定資産除却損	—	1,623
減損損失	—	54,924
投資有価証券評価損	660	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損	—	5,052
契約損失引当金繰入額	—	298,400
特別損失合計	660	360,001
税金等調整前当期純利益	322,315	393,386
法人税、住民税及び事業税	256,728	398,091
法人税等調整額	△8,562	△148,460
法人税等合計	248,165	249,630
当期純利益	74,149	143,755
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	74,149	143,755

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
当期純利益	74,149	143,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,212	△2,046
為替換算調整勘定	△2,742	1,691
その他の包括利益合計	△5,954	△355
包括利益	68,195	143,399
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	68,195	143,399
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,001,772	2,865,919	△1,733,452	△189	2,134,050
当期変動額					
新株の発行	20,007	20,007	—	—	40,015
株式交換による増加	—	1,919,206	—	—	1,919,206
欠損填補	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	74,149	—	74,149
自己株式の取得	—	—	—	△13,005	△13,005
自己株式の処分	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	20,007	1,939,213	74,149	△13,005	2,020,365
当期末残高	1,021,779	4,805,133	△1,659,302	△13,195	4,154,415

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	△465	△465	29,580	2,163,165
当期変動額					
新株の発行	—	—	—	—	40,015
株式交換による増加	—	—	—	—	1,919,206
欠損填補	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	74,149
自己株式の取得	—	—	—	—	△13,005
自己株式の処分	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△3,212	△2,742	△5,954	37,884	31,929
当期変動額合計	△3,212	△2,742	△5,954	37,884	2,052,295
当期末残高	△3,212	△3,207	△6,419	67,464	4,215,460

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,021,779	4,805,133	△1,659,302	△13,195	4,154,415
当期変動額					
新株の発行	32,589	32,589	—	—	65,179
株式交換による増加	—	—	—	—	—
欠損填補	—	△1,818,700	1,818,700	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	143,755	—	143,755
自己株式の取得	—	—	—	△27	△27
自己株式の処分	—	4,740	—	12,775	17,515
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	32,589	△1,781,370	1,962,456	12,747	226,422
当期末残高	1,054,369	3,023,762	303,153	△447	4,380,838

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△3,212	△3,207	△6,419	67,464	4,215,460
当期変動額					
新株の発行	—	—	—	—	65,179
株式交換による増加	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	143,755
自己株式の取得	—	—	—	—	△27
自己株式の処分	—	—	—	—	17,515
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,046	1,691	△355	88,772	88,416
当期変動額合計	△2,046	1,691	△355	88,772	314,839
当期末残高	△5,259	△1,516	△6,775	156,237	4,530,300

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	322,315	393,386
減価償却費	169,907	197,164
減損損失	—	54,924
のれん償却額	188,411	258,567
為替差損益(△は益)	△1,661	△2,951
株式報酬費用	25,128	102,133
支払手数料	1,032	1,036
新株予約権戻入益	△384	△8,789
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△557	699
受取利息及び受取配当金	△2,790	△7,853
支払利息	22,978	30,253
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損益(△は益)	—	5,052
売上債権の増減額(△は増加)	185,999	△36,717
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,449	△50,978
仕入債務の増減額(△は減少)	△384,174	255,269
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,505	△27,994
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	8,310
契約損失引当金の増減額(△は減少)	—	298,400
投資有価証券評価損益(△は益)	660	—
未払金の増減額(△は減少)	105,707	△33,141
未払費用の増減額(△は減少)	△22,835	18,398
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,733	21,734
前受金の増減額(△は減少)	69,781	△94,863
預り金の増減額(△は減少)	628,671	494,064
その他	913	△91,190
小計	1,312,780	1,784,917
利息及び配当金の受取額	2,790	7,853
利息の支払額	△22,779	△29,799
法人税等の支払額	△128,783	△330,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,164,007	1,432,641
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,836	△22,182
投資有価証券の取得による支出	—	△3,000
投資有価証券の売却による収入	158,012	5,680
無形固定資産の取得による支出	△166,239	△271,175
固定資産の売却による収入	—	3,000
敷金及び保証金の差入による支出	△670	△24,607
敷金及び保証金の回収による収入	—	3,727
その他	△3,032	11,754
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,766	△296,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	316,640	358,360
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△280,004	△386,898
社債の償還による支出	△45,000	△36,000
リース債務の返済による支出	△7,168	△4,699
自己株式の売却による収入	—	19,647
新株予約権の行使による株式の発行による収入	36,833	60,607
自己株式の取得による支出	△230	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	121,069	10,988
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,493	△1,453
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,263,817	1,145,374
現金及び現金同等物の期首残高	1,490,946	3,228,269
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	473,505	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,228,269	4,373,643

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(連結の範囲の変更)

当連結会計期間において、当社の連結子会社であるVALUEDESIGN (MALAYSIA) SDN. BHDは、会社清算に伴い連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象になっております。

当社グループは「キャッシュレスサービス事業」、「デジタルサイネージ関連事業」、「ソリューション事業」及び「その他の事業」を展開しており、それぞれの事業において、顧客へ包括的な戦略を立案し、サービス提供活動を行っております。従って、当社グループは「キャッシュレスサービス事業」、「デジタルサイネージ関連事業」、「ソリューション事業」及び「その他の事業」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「キャッシュレスサービス事業」は、スーパーマーケット、飲食店等の店舗を展開する顧客向けに、エンドユーザーが利用するハウス電子マネーやポイント、デジタルギフトカードなどのサービスを提供しております。

「デジタルサイネージ関連事業」では、ショッピングセンター、飲食チェーン店、コンビニエンスストア、オフィスや駅・空港など、多種多様な業種の顧客に対してデジタルサイネージの販売及び設置、メンテナンスサービスなど、デジタルサイネージに関するトータルソリューションを提供しております。

「ソリューション事業」のメッセージングサービスは、自社サービス等で一時に大量にメール配信を行う顧客を対象に、メッセージ伝達に欠かせない機能を備えたサービスを提供しており、同じくデータセキュリティサービスは、主に個人情報を大量に取り扱う顧客向けに個人情報管理ソリューション「P-P o i n t e r F i l e S e c u r i t y」を提供しております。また、その他のサービス(ARサービス)では、主にエンドユーザー向けプロモーションを実施したい顧客向けサービスとして、ARアプリケーション「ARAPPLI」の提供やARコンテンツ制作を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	キャッシュ レスサービス事 業	デジタル サイネージ 関連事業	ソリューシ ョン事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,376,041	2,748,296	728,054	1,020	6,853,412	—	6,853,412
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	8,360	—	8,360	△8,360	—
計	3,376,041	2,748,296	736,414	1,020	6,861,772	△8,360	6,853,412
セグメント利益又は損 失 (△)	616,881	392,512	225,423	△72,174	1,162,642	△824,697	337,945
その他の項目							
減価償却費	124,641	7,650	25,316	329	157,937	11,969	169,907

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△824,697千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用が含まれております。また、減価償却費の調整額11,969千円は、全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及びセグメント負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象になっていないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	キャッシュ レスサービス事 業	デジタル サイネージ 関連事業	ソリューシ ョン事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,768,534	5,690,126	761,521	13,851	10,234,033	—	10,234,033
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	371	—	8,554	—	8,925	△8,925	—
計	3,768,905	5,690,126	770,075	13,851	10,242,958	△8,925	10,234,033
セグメント利益又は損 失 (△)	802,152	805,948	298,316	△66,778	1,839,639	△1,108,208	731,430
その他の項目							
減価償却費	153,626	11,824	18,968	393	184,813	12,350	197,164

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,108,208千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用が含まれております。また、減価償却費の調整額12,350千円は、全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及びセグメント負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象になっていないため、記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	合計
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	計		
減損損失	54,924	—	—	—	54,924	—	54,924

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結 財務諸表 計上額
	キャッシュ レスサービス事 業	デジタル サイネージ 関連事業	ソリューショ ン事業	その他の 事業	計		
当期償却額	118,255	70,155	—	—	188,411	—	188,411
未償却残高	926,338	1,332,956	—	—	2,259,295	—	2,259,295

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結 財務諸表 計上額
	キャッシュ レスサービス事 業	デジタル サイネージ 関連事業	ソリューショ ン事業	その他の 事業	計		
当期償却額	118,255	140,311	—	—	258,567	—	258,567
未償却残高	808,082	1,192,645	—	—	2,000,727	—	2,000,727

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	
スポット売上	893,279	2,505,073	55,594	1,000	3,454,947
リカーリング売上	2,374,454	193,891	672,459	20	3,240,825
その他の売上	108,308	49,331	—	—	157,640
顧客との契約から生じる収益	3,376,041	2,748,296	728,054	1,020	6,853,412
外部顧客への売上高	3,376,041	2,748,296	728,054	1,020	6,853,412

当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	
スポット売上	812,646	5,110,268	48,073	13,381	5,984,370
リカーリング売上	2,858,753	486,322	713,447	470	4,058,993
その他の売上	97,134	93,535	—	—	190,669
顧客との契約から生じる収益	3,768,534	5,690,126	761,521	13,851	10,234,033
外部顧客への売上高	3,768,534	5,690,126	761,521	13,851	10,234,033

2. 当連結会計年度及び翌連結会計年度以降の収益の金額を理解するための情報

前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位: 千円)

	当連結会計年度
顧客との契約から生じた債権 (期首残高)	698,683
顧客との契約から生じた債権 (期末残高)	1,090,445
契約負債 (期首残高)	3,719
契約負債 (期末残高)	13,857

(注) 顧客との契約から生じた債権は、「受取手形、売掛金及び契約資産」として表示しております。また、契約負債は、流動負債の「前受金」に含まれております。

当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 千円)

	当連結会計年度
顧客との契約から生じた債権 (期首残高)	1,090,445
顧客との契約から生じた債権 (期末残高)	1,127,384
契約負債 (期首残高)	13,857
契約負債 (期末残高)	13,234

(注) 顧客との契約から生じた債権は、「受取手形、売掛金及び契約資産」として表示しております。また、契約負債は、流動負債の「前受金」に含まれております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	264.33円	274.98円
1株当たり当期純利益	5.37円	9.06円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	5.27円	8.88円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	74,149	143,755
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	74,149	143,755
普通株式の期中平均株式数(株)	13,807,054	15,851,687
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	241,628	326,117
(うち新株予約権(株))	(241,628)	(326,117)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第15回新株予約権 新株予約権の数 495個 (普通株式 49,500株) 第24回新株予約権 新株予約権の数 112個 (普通株式 77,728株) 第25回新株予約権 新株予約権の数 200個 (普通株式 20,000株) 第26回新株予約権 新株予約権の数 1,825個 (普通株式 182,500株)	第15回新株予約権 新株予約権の数 462個 (普通株式 46,200株) 第26回新株予約権 新株予約権の数 1,825個 (普通株式 182,500株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。